

# 仙北市総合計画

## 資料編

平成18年12月

秋田県 仙北市

---

# 目 次

## I 将来のまちづくりを考えるアンケート

1 調査概要 .....	1
2 調査結果 .....	3
3 調査票 .....	12

## II 統計資料

1 基本構想に関するもの	
人口・世帯数・所得 .....	20
自然環境 .....	20
2 基本計画に関するもの	
交流拠点 .....	22
健康福祉 .....	24
産業創造 .....	29
生活環境 .....	31
教育文化 .....	34
市民協働 .....	35
行財政 .....	35

---

---

# I 将来のまちづくりを考えるアンケート

## 1. 調査概要

### (1) 調査の目的

平成17年9月20日に誕生した仙北市において、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るための明確な将来ビジョンとなる「仙北市総合計画」策定にあたり、より多くの市民から意見を伺い、広く住民の声を反映した計画とするために、アンケート調査を行うものである。

### (2) 調査対象者及び抽出方法

調査対象者は、市内に住む18歳以上の住民のうち、住民基本台帳から地区別、年齢層別の二層化無作為抽出により、2,000名を抽出した。

### (3) 調査手法及び実施期間

調査手法：郵送配布、郵送回収

実施期間：平成18年4月20日～平成18年5月8日

### (4) 調査内容

調査票は、以下の視点で設計するものである。

#### 居留意識の把握

居住年数、居住理由、今後の定住意向から、地域の定住可能性を把握する。

#### 暮らしやすさの現状把握による課題の把握（全市、地区別）

暮らしやすさの現状評価及び重要視されている施策を把握し、暮らしやすさの視点で、現状の課題、重要度を整理する。

#### まちづくりの方向性及び施策の優先度の把握（全市、地区別）

仙北市のまちづくりの大きな方向性、政策分野別の要望、優先度を把握する。

#### まちづくりに対する住民参加の実践に向けた可能性把握

現状の地域コミュニティの実態、住民参加意向、分野等の把握を行い、住民参加の可能性を把握する。

#### 行政運営の評価

現在の行政運営に対する評価、意見を把握し、今後の改善の方向性について検討する。

以上の視点に基づき、調査項目の設計を行い、以下のような調査内容とする。

表 設問項目

設 問 項 目	細 部 項 目
問 1. 回答者属性	性別、年齢、職業、世帯人数、世帯構成
問 2. 自分の住んでいる地域 (10地域)の状況	居住地域、居住年数、居住理由、居住意向
問 3. 暮らしの現状評価	満足度の5段階評価(37項目) (満足、やや満足、やや不満、不満、わからない)
	特に(満足、不満、重要)な項目 (37項目のうち5つ選択)
	交通機関の利用状況
	暮らしやすさの評価
問 4. 行政運営	市・居住地域に活気があるか
問 4. 行政運営	公共施設の利用、情報提供、分庁舎方式等
問 5. 観光への関わり	観光への携わり、観光客の受入体制、
問 6. 将来期待するまちのイメージ	
問 7. 今後の取り組み内容について	観光産業を活かした北東北の「交流拠点都市」に向けて
	さまざまな交流でつくる「生活文化都市」に向けて
	観光や暮らしの中で人の行き来をさかんにする交通の整備に向けて まちづくりをサポートする行財政の改革に向けて
問 8. 住民参加	ボランティア活動、地域活動などの参加状況
	まちづくりへの参加意向
問 9. その他自由回答	

#### (5) 配布回収結果

配布数2,000票に対して、951票(内3票地区不明)回収率48%となった。地区別でも概ね40%程度の回収率となっている。

表 配布回収結果

地 区 名	配布数	回収数	回収率(%)	備 考
仙 北 市	2,000	951	48	
田 沢 湖 地 区	765	372	49	
生 保 内	382	192	50	
田 沢	64	25	39	
神 代	319	155	49	
角 館 地 区	877	416	47	
角 館	382	216	57	
中 川	178	56	31	
雲 沢	197	84	43	
白 岩	120	60	50	
西 木 地 区	358	160	45	
上 桧 木 内	46	27	59	
桧 木 内	113	43	38	
西 明 寺	199	90	45	
		3		地区不明

## 2.調査結果

### (1)まとめ

#### ① 居住動向

定住者が5割を占め、市内外からの転居者も20年以上居住している。また、今後の定住意向を約8割が示している。一方で、田沢湖生保内地域や田沢地域では、転居に強い意向を有する人も見られる。

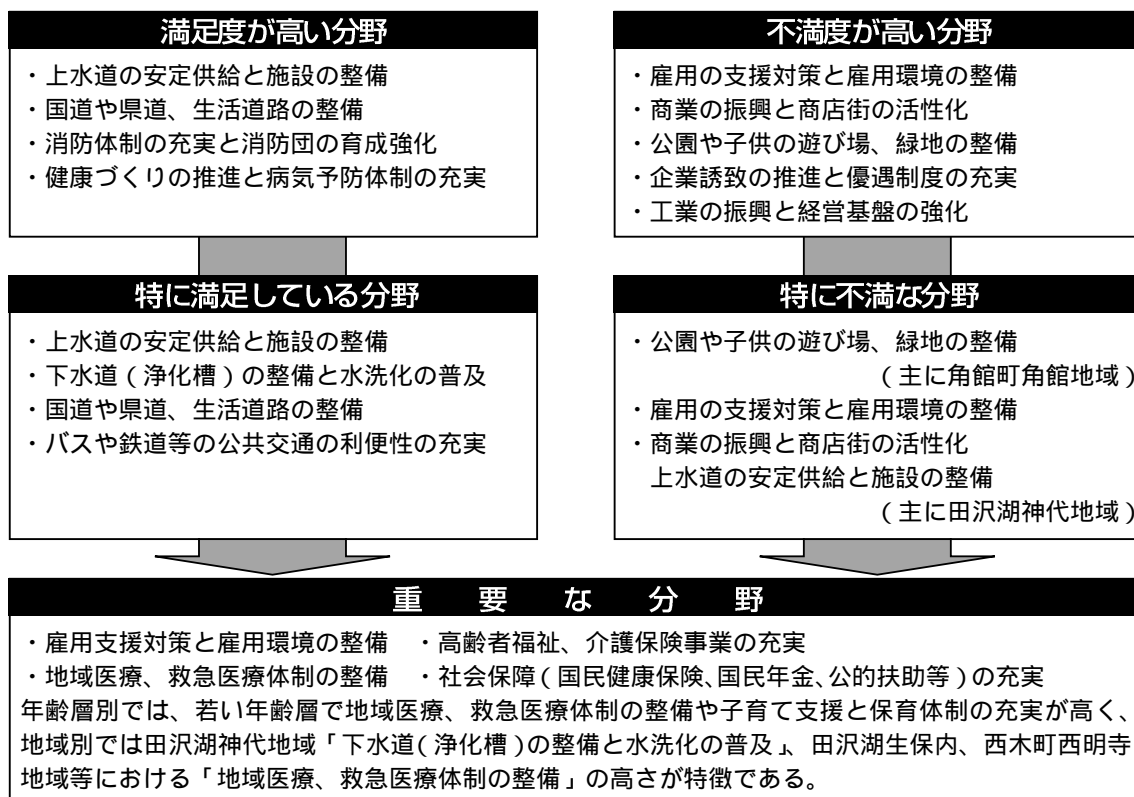
#### ② 暮らしの満足度、重要度

暮らしの分野での満足度、不満度、重要度について整理する。

上水道整備、道路網、消防防災体制などについては、これまでのまちづくりの成果として、満足度が高くなっている。

一方で、地域雇用対策、商工業の活性化、公園緑地等の整備に対する不満度が高くなっている。今後のまちづくりにおける重要度においても、地域雇用対策、医療、福祉、子育て環境の充実が高くなっており、「地域雇用対策」に対する市民の要望が高いものといえる。

また、居住地別に重要度の違いが現れており、下水道整備などのこれまでのまちづくりにおける生活基盤整備の公平性や市全体を見渡した地域医療体制の確立などが求められている。



③ 暮らしやすさ

暮らしやすさでは、市街部における暮らしやすさが高く見られ、郊外部において低くなっている。若年層、高齢層などにおける暮らしにくさが高く、高齢者の生活利便性の向上が求められるとともに、若者定住促進という点では、若者における暮らしやすさを如何に図るかが課題といえる。

暮らしやすい
全体：21% 角館町角館地域で約5割が暮らしやすい。 田沢湖生保内、神代、角館町中川、雲沢、白岩地域でも4割以上が暮らしやすい。

暮らしにくい
全体：16% どちらともいえないを加えると8割は暮らしやすさという点では満足していない。 若年層、高齢層で暮らしにくいと感じている。 特に西木町上桧木内地域及び田沢湖田沢地域では暮らしにくい回答が高い。

④ まちの活気

「活気」という面では、非常に低く評価されている。人々の暮らしぶり、商工業の活性、交流人口等、まちに活気をもたらす取り組みについては、重点的な取り組みが求められる。

活気がある
全体：6% 唯一角館町中川地域で、活気があるが1割を超えている。

活気がない
全体：41% 20代以下では特に6割が「活気がない」と感じている。 西木町上桧木内地域で8割、田沢湖田沢地域で7割が「活気がない」と感じている。

⑤ 行財政運営について

行財政運営に対しては、各項目ともに、厳しく評価されている。

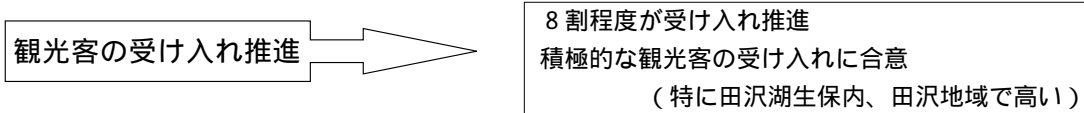
特に、市政への市民参画への積極的な取り組みが求められる。さらに、公共施設の有効活用、効率的な行財政運営に対する評価が低く、町村合併による効果を今後発揮していくことが求められる。

分庁舎方式については、まさしく意見が分かれており、継続的な市民意見の収集が必要であるといえる。

<行財政運営の項目>	<評価>
公共施設の有効活用	活用されている 1割程度 活用されていない 4割程度
市民意見の取り入れ	積極的に行われている 1割以下 積極的に行われていない 5割程度
市政等の情報提供	適切 2割程度 情報不足 3割(40代、50代で高い)
市役所職員の対応	よい 2割程度 悪い 3割程度
効率的な行財政運営	行われている 1割以下 行われていない 4割程度
分庁舎方式	よい 4割程度 どちらともいえない 3割程度 悪い 3割程度

⑥ 観光との関わりについて

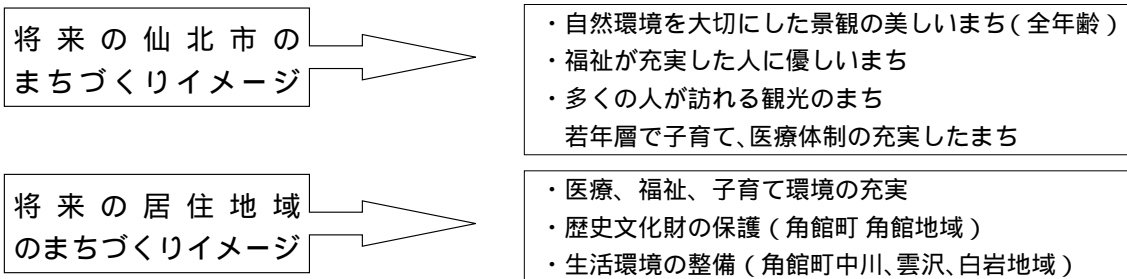
仙北市において、観光は地域の大きな特徴であり、今後のまちづくりにおいても重要な施策のひとつである。観光客の受け入れに対しては、8割を超える市民が観光客を積極的に受け入れることを容認しており、観光振興に向けた取り組みの推進が求められる。



⑦ 将来のまちづくりのイメージについて

将来のまちづくりのイメージについて、地域の雄大な自然環境を生かした「自然環境を大切にした景観の美しいまち」が最も高い、そして「福祉が充実した人に優しいまち」、「多くの人を訪れる観光のまち」と続いている。一方で、身近な居住地域においては、医療、福祉、子育て環境の充実したまちづくりが望まれている。

仙北市としての大きなまちづくりの方向性としての3つの柱には、「自然環境・美しさ」の保全と継承、「住む人」の安心さ、「交流人口の拡大」による観光産業の育成等を目指したまちづくりが求められている。



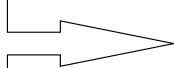
居住地域への期待				
地 域 別	田沢湖生保内	医療体制が充実した健康づくりのまち	自然環境を大切にした景観の美しいまち	防犯や交通安全等の住民の安全が充実したまち
	田沢湖田沢	医療体制が充実した健康づくりのまち	福祉が充実した人に優しいまち	自然環境を大切にした景観の美しいまち 子育て環境が充実した情緒豊かな子どもを育むまち
	田沢湖神代	道路や上下水道などの生活環境が整備されたまち	医療体制が充実した健康づくりのまち	子育て環境が充実した情緒豊かな子どもを育むまち
	角館町角館	歴史と文化財を大切にす文化のまち	防犯や交通安全等の住民の安全が充実したまち	子育て環境が充実した情緒豊かな子どもを育むまち 多様な商工業が活発なまち
	角館町中川	道路や上下水道などの生活環境が整備されたまち	子育て環境が充実した情緒豊かな子どもを育むまち	福祉が充実した人に優しいまち
	角館町雲沢	道路や上下水道などの生活環境が整備されたまち	福祉が充実した人に優しいまち	住民参加によるまちづくり活動が盛んなまち
	角館町白岩	道路や上下水道などの生活環境が整備されたまち	自然環境を大切にした景観の美しいまち	子育て環境が充実した情緒豊かな子どもを育むまち
	西木町上桧木内	自然環境を大切にした景観の美しいまち	特色ある農林業のまち	福祉が充実した人に優しいまち 医療体制が充実した健康づくりのまち
	西木町桧木内	自然環境を大切にした景観の美しいまち	福祉が充実した人に優しいまち	災害に対する備えが充実したまち
	西木町西明寺	子育て環境が充実した情緒豊かな子どもを育むまち	自然環境を大切にした景観の美しいまち 医療体制が充実した健康づくりのまち	防犯や交通安全等の住民の安全が充実したまち

⑧ 今後のまちづくりの方向性について

交流拠点都市としての施策の方向性としては、観光産業の育成に向けたシーズづくりと魅力の向上、さらに観光にかかわる雇用の拡大に対する要望が高くなっている。

市の観光地化の促進と、多様な産業との連携による地域経済への波及を如何に拡大させるかが求められており、農林業等と観光の融合、さらにこれらによる地域に根ざした企業の育成を図っていくことが求められる。

交流拠点都市  
実現のための施策の方向



<市全体の方向性>

- ・観光資源の掘り起こしと冬季観光の充実
- ・点在する観光資源の連携による魅力の向上
- ・観光産業による雇用の場の確保

<居住地域の方向性>

- ・地域に根ざした企業の育成と導入（全地域）

居住地域への期待				
地 域 別	田沢湖生保内	地域に根ざした企業の育成と導入	観光客への心のこもったもてなし	秋田新幹線駅の駅前機能と観光情報提供機能の強化
	田沢湖田沢	観光産業による雇用の場の確保	地域に根ざした企業の育成と導入	観光産業と他の産業との連携
	田沢湖神代	観光産業による雇用の場の確保	地域に根ざした企業の育成と導入	特色ある農林業の振興
	角館町角館	地域に密着した商業の展開	観光客への心のこもったもてなし	観光産業による雇用の場の確保
	角館町中川	特色ある農林業の振興	地域に根ざした企業の育成と導入	農山村や森林、水辺等の原風景の保全
	角館町雲沢	地域に根ざした企業の育成と導入	観光産業による雇用の場の確保	地域に密着した商業の展開
	角館町白岩	農山村や森林、水辺等の原風景の保全	特色ある農林業の振興	地域に根ざした企業の育成と導入
	西木町上桧木内	特色ある農林業の振興 農山村や森林、水辺等の原風景の保全	地域に根ざした企業の育成と導入	グリーンツーリズムや体験型観光の推進
	西木町桧木内	地域に根ざした企業の育成と導入	農山村や森林、水辺等の原風景の保全	特色ある農林業の振興
西木町西明寺	農山村や森林、水辺等の原風景の保全	特色ある農林業の振興 地域に根ざした企業の育成と導入	観光産業による雇用の場の確保	

生活文化都市としての施策の方向性としては、地域にある伝統文化、行事等の保全と伝承、医療、福祉の充実に対する要望が高くなっている。

また、居住地域では、これらに合わせて、住民同士の交流を促進すること、快適な生活環境の充実に向けた要望も高い。

地域住民における伝統文化、行事等の保全や伝承を図るなど、地域コミュニティの育成に向けた取り組みが必要であるとともに、医療、福祉については、市全体の課題として取り組んでいくことが求められる。

生活文化都市  
実現のための施策の方向

<市全体の方向性>  
 ・ 伝統文化、行事等の保全と伝承  
 ・ 医療体制の充実 ・ 高齢者福祉の充実  
 Aターン希望者受入態勢の整備（40～60代）

<居住地域の方向性>  
 ・ 快適な生活環境の整備（全地域）

居住地域への期待				
地 域 別	田沢湖生保内	快適な生活環境の整備	医療体制の充実	地域住民の交流の促進
	田沢湖田沢	医療体制の充実	高齢者福祉の充実	地域住民の交流の促進
	田沢湖神代	快適な生活環境の整備	高齢者福祉の充実	地域住民の交流の促進
	角館町角館	伝統文化、行事等の保存と伝承	快適な生活環境の整備	高齢者福祉の充実
	角館町中川	快適な生活環境の整備	地域住民の交流の促進	高齢者福祉の充実
	角館町雲沢	高齢者福祉の充実	快適な生活環境の整備	地域住民の交流の促進
	角館町白岩	伝統文化、行事等の保存と伝承	快適な生活環境の整備	地域住民の交流の促進、学校教育環境の整備、自然環境の保全と公害の防止
	西木町上桧木内	快適な生活環境の整備	医療体制の充実	地域住民の交流の促進 高齢者福祉の充実
	西木町桧木内	高齢者福祉の充実	快適な生活環境の整備	まちづくり活動の支援
	西木町西明寺	子育て支援・児童福祉の充実 快適な生活環境の整備	医療体制の充実	地域住民の交流の促進 高齢者福祉の充実

交通の整備の施策方向性としては、幹線道路の整備促進、除雪体制の充実、生活道路の整備促進の順に要望が高くなっている。

また、居住地域では、除雪体制の充実、地域によってはバス路線の利便性の充実に対する要望が高くなっている。

交通については、冬期間の除雪体制の確立、バス路線等公共交通機関の再構築が求められる。

交通の整備  
実現のための施策の方向

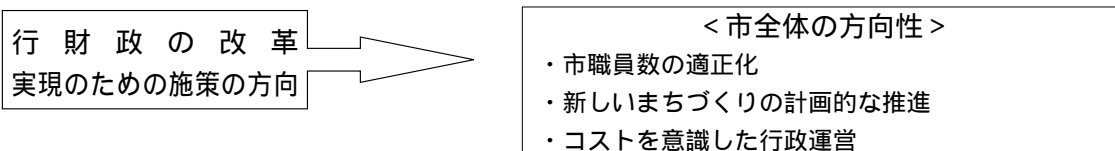
<市全体の方向性>  
 ・ 国道・県道などの幹線道路の整備促進  
 ・ 除雪体制の充実  
 ・ 市道など生活道路の整備促進  
 二次アクセスの充実（30～60代）

<居住地域の方向性>  
 ・ 除雪体制の充実（全地域）  
 ・ 市道などの生活道路の整備促進（全地域）  
 角館町白岩地域でバス路線の利便性向上

## 居住地域への期待

地 域 別	田沢湖生保内	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進	バス路線の利便性の充実
	田沢湖田沢	除雪体制の充実	バス路線の利便性の充実	市道など生活道路の整備促進
	田沢湖神代	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進	バス路線の利便性の充実
	角館町角館	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進	バス路線の利便性の充実
	角館町中川	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進 バス路線の利便性の充実	交通安全対策の充実
	角館町雲沢	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進	バス路線の利便性の充実
	角館町白岩	バス路線の利便性の充実	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進
	西木町上桧木内	除雪体制の充実	鉄道路線の利便性の充実	市道など生活道路の整備促進
	西木町桧木内	除雪体制の充実	バス路線の利便性の充実	市道など生活道路の整備促進
	西木町西明寺	除雪体制の充実	市道など生活道路の整備促進	鉄道路線の利便性の充実

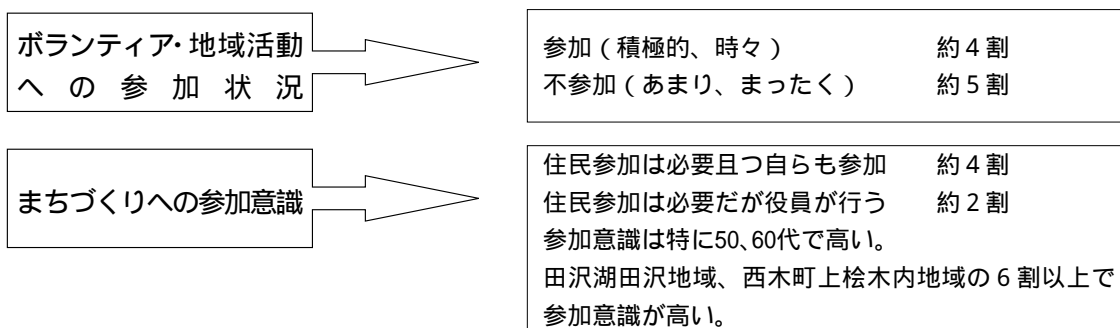
行財政の改革に向けては、市職員数の適正化、コストを意識した行政運営など効率的な運営に加え、まちづくりの計画的な推進が上げられており、単なる効率性のみならず、計画立案と計画に基づいた実践、さらにその検証などの取り組みが求められる。



### ⑨ まちづくりへの住民参加について

住民参画のまちづくりについては、多くの市民が求めるものであり、この参画意識も中高年層で高くなっている。

今後のまちづくりにおける住民参加機会の拡充が求められる結果となった。特に、暮らしにくさ等の評価が高い地域においては、この要請が高くなっている。



## ⑩ まちづくりへの意見

### まちづくりに対する自由記述

旧三町村地区における公平性及び行財政改革に対する意見が多く寄せられており、これらの取り組みに関する市民の関心の高さがうかがえる。

#### <自由記述の分類項目>

まちづくりの方向性について

総合計画について

まちづくり、まちづくり計画の策定について

個別施策分野への意見・提案

① 道路の整備、維持管理

② 除雪、雪対策について

③ 公共交通機関について

④ 上下水道について

⑤ 住宅、土地利用、緑地の整備について

⑥ 情報基盤について

⑦ 自然環境保全、景観等保全について

⑧ リサイクル、ゴミ等について

⑨ 地域医療について

⑩ 子育て、児童福祉等について

⑪ 高齢者福祉について

⑫ 教育環境、生涯学習について

⑬ スポーツ等施設について

⑭ 伝統文化について

⑮ 商工業の活性化について

⑯ 観光事業について

⑰ 若者定住、雇用対策について

⑱ 農林業について

⑲ 交通安全、防犯について

行財政改革について

① 行財政運営について

② 公共施設の適正配置について

③ 行政運営体制について

④ 行政情報交流について

⑤ まちづくりシステム、住民参画について

アンケート調査について

感想や町村合併、まちづくり全体についての提案など

## (2) 結果の考察

### ① まちづくりの基本的方向性について

仙北市としての大きなまちづくりの方向性としては、3つの柱として、「自然環境・美しさ」の保全と継承、「住む人」の安心さ、「交流人口の拡大」による観光産業の育成等を目指したまちづくりが求められている。

「住む人」の安心さとしては、「医療」「福祉」に対する安心さが求められている。ま

---

た、交流人口の拡大に対しては、観光客の受け入れに対する市民の要請も高く、また、単なる観光資源の充実のみならず、観光産業の拡大、他産業との連携を図っていくことが必要である。

また、合併して間もない市として、地域間の施策バランスが求められるが、これらの3つの柱は共通項として取り上げられるものであり、本市のまちづくりの柱となりうるものである。

#### 新市まちづくり計画で掲げられた基本方針について

「交流拠点都市」の実現、観光産業の育成に向けたシーズづくりと魅力の向上、さらに観光にかかわる雇用の拡大に対する要望が高くなっている。市の観光地化の促進と、多様な産業との連携による地域経済への波及を如何に拡大させるかが求められており、農林業等と観光の融合、さらにこれらによる地域に根ざした企業の育成を図っていくことが求められる。

「生活文化都市」としての施策の方向性としては、地域にある伝統文化、行事等の保全と伝承、医療、福祉の充実に対する要望が高くなっている。

また、居住地域では、これらに合わせて、住民同士の交流を促進すること、快適な生活環境の充実に向けた要望も高い。地域住民における伝統文化、行事等の保全や伝承を図るなど、地域コミュニティの育成に向けた取り組みが必要であるとともに、医療、福祉については、市全体の課題として取り組んでいくことが求められる。

「交通の整備」の施策の方向性としては、幹線道路の整備促進、除雪体制の充実、生活道路の整備促進の順に要望が高くなっている。また、居住地域では、除雪体制の充実、地域によってはバス路線の整備に対する要望が高くなっている。

交通については、除雪体制の確立、バス路線等公共交通機関の再構築が求められる。

#### ② 施策の優先度と策定の方向性について

政策の優先度としては、地域雇用対策、商工業の活性化、医療、福祉、子育て環境の充実が上げられる。

地域雇用対策については、観光産業の育成及びこの裾野の拡大、さらに企業誘致ではなく、地域に根ざした企業の育成を図ることが要望されており、地域の資源（自然的資源、観光資源、伝統的技術、地場産業など）を生かした産学等の一体化させた産業クラスタづくりなどの促進が求められる。

また、居住地別に優先度の違いがあり、地区別まちづくり計画の策定が必要である。まちづくりに対する参画意識が高く、特に暮らしやすさに対する問題意識をもっている

---

市民が多いことから、地区別まちづくり計画の策定においては、住民主導での計画立案を図ることが効果的である。

③ 行財政改革について

行財政運営に対しては、自由記述においても多くの意見が寄せられており、多くの市民が関心を寄せている。特に町村合併の大きな効用のひとつに上げられることから、現在の評価は厳しいものである。

第一として、市職員数の適正化、行政運営のコスト意識の高揚などが重要な要素として上げられている。また、公共施設の有効活用に対する意見も多く、未利用、または適正な利用が行われていない公共施設、市所有財産などを含めた、公共財産運用の再構築が求められている。

さらに、住民参画のまちづくりを実践していく上で、市政情報の提供方法、市民意見の収集方法など情報の交換手法については、検討が必要であり、地域自治会の市政における役割強化などの取り組みが必要である。

また、分庁舎方式については、まさしく意見が分かれており、継続的な市民意見の収集、討議が必要であるといえる。

### 3. 調査票

平成18年4月

## 将来のまちづくりを考えるアンケート調査に ご協力をお願いします

仙北市総務部企画政策課

私たちの住む仙北市の未来は、どんなまちであってほしいと思いますか。

仙北市は、平成17年9月20日に誕生しましたが、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るためには、明確な将来ビジョンを示す必要があり、本年9月までに「仙北市総合計画」を策定することにしました。

総合計画は、合併協議により策定された「新市建設計画」の基本理念を継承しつつ、より発展的、具体的なまちづくりの指針となるものです。

この計画の策定にあたっては、より多くの市民の皆様からご意見をいただき、広く市民の声を反映したものにしたいと考えています。

このため、無作為に抽出した2,000名の市民の皆様を対象にアンケート調査を実施することにしました。

つきましては、あなたにアンケート調査をお願いすることになりましたので、ご多忙のところとは存じますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、回収された調査票は下記の調査機関により集計分析されます。回答していただいた内容は統計的に処理し、この調査の目的以外には一切使用いたしませんので、皆さんにご迷惑をおかけすることはありません。率直なご意見をお願いいたします。

#### 記入にあたってのご注意

回答にあたっては、原則として宛名の方ご本人にご回答をお願いしますが、都合により回答できない場合は、ご家族のどなたがお答えいただいても結構です。

お答えは、1から順に質問ごとに用意した答えの中からあてはまる番号に をつけて下さい。(一部、……の下線部分に数字や文字をご記入いただくものもあります。)

ご記入は黒の鉛筆やボールペン等をお願いします。

ご記入が завершиました調査票は、平成18年5月4日までに、同封した返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函いただきますよう、よろしくようお願い申し上げます。

仙北市総合計画アンケート調査 問合せ先

仙北市役所田沢湖庁舎 総務部企画政策課

電 話 0187-43-1112

ファックス 0187-43-1300

E-mail kikaku@city.semboku.akita.jp

調査機関 株式会社 ウヌマ地域総研



問2 - 3 当地域に住んでいる理由は？（あてはまるものすべてに ）

1 . 自分、配偶者の生家であるため	2 . 職場に近い
3 . 子供の学校に近い	4 . 買い物の便が良い
5 . バスや鉄道等の交通の便が良い	6 . 家賃が安い
7 . 上下水道等の生活基盤が整っている	8 . 子供を育てる環境が良い
9 . 医療施設や福祉施設等の便が良い	10 . 親類等の家の近くだから
11 . その他 ( ..... )	

問2 - 4 今後も住み続けたいと思いますか？（1つに ）

1 . ずっと住み続けたい
2 . 当分住み続けたい
3 . できれば他の市町村に移りたいが、そんなに強い意向ではない
4 . できれば他の地域（仙北市内）に移りたいが、そんなに強い意向ではない
5 . できるだけ早く他の市町村に移りたい
6 . できるだけ早く他の地域（仙北市内）に移りたい
7 . わからない

問3 . あなたのお住まいの地域での暮らしについて、どのように感じていますか？

問3 - 1 1)~37)のそれぞれの満足の度合いについて、1~5の該当する項目に をつけてください

くらしの項目		満足の度合い（それぞれ1つに を）				
		1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	5 わからない
回答例) 国道や県道、生活道路の整備		1	②	3	4	5
生活環境・ 交通通信	1) 国道や県道、生活道路の整備	1	2	3	4	5
	2) バスや鉄道等の公共交通の利便性の充実	1	2	3	4	5
	3) 上水道の安定供給と施設の整備	1	2	3	4	5
	4) 下水道（浄化槽）の整備と水洗化の普及	1	2	3	4	5
	5) 都市計画や適正な土地利用の推進	1	2	3	4	5
	6) 住宅団地、市営住宅の整備	1	2	3	4	5
	7) 公園や子供の遊び場、緑地の整備	1	2	3	4	5
	8) インターネット等の情報通信基盤の整備	1	2	3	4	5
	9) 自然保護や景観保全の推進	1	2	3	4	5
	10) 廃棄物の適正処理、リサイクル活動の推進	1	2	3	4	5
健康・ 医療・ 福祉	11) 健康づくりの推進と病気予防体制の充実	1	2	3	4	5
	12) 地域医療、救急医療体制の整備	1	2	3	4	5
	13) 子育て支援と保育体制の充実	1	2	3	4	5
	14) 社会福祉(母子父子対策、低所得者対策、ボランティアの育成等)の充実	1	2	3	4	5
	15) 高齢者福祉、介護保険事業の充実	1	2	3	4	5
	16) 障害者福祉の充実と社会参加の促進	1	2	3	4	5
	17) 社会保障(国民健康保険、国民年金、公的扶助等)の充実	1	2	3	4	5

(次ページに続く)

(つづき)

くらしの項目		満足の度合い(それぞれ1つに を)				
		1 満 足	2 やや満足	3 やや不満	4 不 満	5 わからない
教育・文化	18) 幼児教育の充実と教育環境の整備	1	2	3	4	5
	19) 学校教育の充実と教育環境の整備	1	2	3	4	5
	20) 生涯学習の推進と社会教育施設の整備	1	2	3	4	5
	21) スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備	1	2	3	4	5
	22) 芸術文化活動の振興と文化財の保護	1	2	3	4	5
商工・観光・労働	23) 商業の振興と商店街の活性化	1	2	3	4	5
	24) 工業の振興と経営基盤の強化	1	2	3	4	5
	25) 企業誘致の推進と優遇制度の充実	1	2	3	4	5
	26) 観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし	1	2	3	4	5
	27) 観光宣伝の強化と受け入れ体制の充実	1	2	3	4	5
	28) 観光産業と他産業の連携強化	1	2	3	4	5
	29) 雇用の支援対策と雇用環境の整備	1	2	3	4	5
農林業	30) 農業の生産基盤整備と担い手育成	1	2	3	4	5
	31) 林業の生産基盤整備と担い手育成	1	2	3	4	5
消防・交通安全	32) 消防体制の充実と消防団の育成強化	1	2	3	4	5
	33) 自然災害等への防災体制の整備	1	2	3	4	5
	34) 交通安全の推進と交通環境の整備	1	2	3	4	5
	35) 防犯体制の強化と啓発活動の推進	1	2	3	4	5
地域行政	36) 行財政運営の効率化と行政情報システムの整備	1	2	3	4	5
	37) まちづくりへの住民参加と情報提供の推進	1	2	3	4	5

問3 - 2 あなたのお住まいの地域で特に満足している項目を5つ選び、該当する番号を記入してください

記入欄(下記の「選択肢」からそれぞれ番号を5つ)					
特に満足な項目					

問3 - 3 あなたのお住まいの地域で特に不満な項目を5つ選び、該当する番号を記入してください

記入欄(下記の「選択肢」からそれぞれ番号を5つ)					
特に不満な項目					

問3 - 4 あなたのお住まいの地域で特に重要な項目を5つ選び、該当する番号を記入してください

記入欄(下記の「選択肢」からそれぞれ番号を5つ)					
特に重要な項目					

選 択 肢 (問3 - 2、問3 - 3、問3 - 4)		
1. 国道や県道、生活道路の整備	2. バスや鉄道等の公共交通の利便性の充実	3. 上水道の安定供給と施設の整備
4. 下水道(浄化槽)の整備と水洗化の普及	5. 都市計画や適正な土地利用の推進	6. 住宅団地、市営住宅の整備
7. 公園や子供の遊び場、緑地の整備	8. インターネット等の情報通信基盤の整備	9. 自然保護や景観保全の推進
10. 廃棄物の適正処理、リサイクル活動の推進	11. 健康づくりの推進と病気予防体制の充実	12. 地域医療、救急医療体制の整備
13. 子育て支援と保育体制の充実	14. 社会福祉(母子父子対策、低所得者対策、ボランティアの育成等)の充実	
15. 高齢者福祉、介護保険事業の充実	16. 障害者福祉の充実と社会参加の促進	
17. 社会保障(国民健康保険、国民年金、公的扶助等)の充実		18. 幼児教育の充実と教育環境の整備
19. 学校教育の充実と教育環境の整備	20. 生涯学習の推進と社会教育施設の整備	21. スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備

22.芸術文化活動の振興と文化財の保護	23.商業の振興と商店街の活性化	24.工業の振興と経営基盤の強化
25.企業誘致の推進と優遇制度の充実	26.観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし	27.観光宣伝の強化と受け入れ体制の充実
28.観光産業と他産業の連携強化	29.雇用の支援対策と雇用環境の整備	30.農業の生産基盤整備と担い手育成
31.林業の生産基盤整備と担い手育成	32.消防体制の充実と消防団の育成強化	33.自然災害等への防災体制の整備
34.交通安全の推進と交通環境の整備	35.防犯体制の強化と啓発活動の推進	
36.行財政運営の効率化と行政情報システムの整備	37.まちづくりへの住民参加と情報提供の推進	

問3 - 5 あなたは日常生活で主にどの交通機関を利用していますか？

(主なもの1つ以上3つまで)

1. 自家用車	2. スマイルバス	3. たっこちゃんバス	4. 民間バス
5. JR鉄道	6. 秋田内陸鉄道	7. タクシー	8. バイク
9. 自転車	10. その他 (.....)		

問3 - 6 現在、あなたがお住まいの地域及び仙北市全体は暮らしやすいまちですか？(1つに)

①あなたのお住まいの地域は	1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
②仙北市全体は	1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ

問3 - 7 現在、あなたがお住まいの地域及び仙北市全体は「活気がある」と思いますか？(1つに)

①あなたのお住まいの地域は	1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
②仙北市全体は	2. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ

問4 . 仙北市の行財政運営について伺います

問4 - 1 公共施設は有効に活用されていると思いますか？(1つに)

1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
-------	--------------	--------

問4 - 2 仙北市は積極的に市民の意見を取り入れたまちづくりを進めていると思いますか？(1つに)

1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
-------	--------------	--------

問4 - 3 仙北市は市民に対して、市政等に関する情報提供を行っていると思いますか？(1つに)

1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
-------	--------------	--------

問4 - 4 市役所職員の対応は良いですか？(1つに)

1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
-------	--------------	--------

問4 - 5 仙北市は効率的な行財政運営を行っていると思いますか？(1つに)

1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
-------	--------------	--------

問4 - 6 今後も田沢湖、角館、西木の三庁舎による分庁舎方式で良いと思いますか？(1つに)

1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
-------	--------------	--------

問5．現在のあなたの観光へのかかわりについて伺います

問5 - 1 あなたは観光に関わる産業に携わっていますか？（1つに ）

1．はい	2．どちらともいえない	3．いいえ
------	-------------	-------

問5 - 2 あなたは観光客の受け入れを積極的に行うべきだと思いますか？（1つに ）

1．はい	2．どちらともいえない	3．いいえ
------	-------------	-------

問5 - 3 あなたは地域の観光地、観光施設などについて、観光客に説明できますか？（1つに ）

1．はい	2．どちらともいえない	3．いいえ
------	-------------	-------

問6．将来の仙北市のイメージについて、どのようなまちを期待しますか？

10年後に期待するまちのイメージについて、①仙北市全体のイメージと②お住まいの地域のイメージについて、下枠の選択肢の中から当てはまる番号をそれぞれ3つ選び、下枠に番号をご記入下さい。

記入欄（下記の「選択肢」からそれぞれ番号を3つ）				
①仙北市全体への期待				「15.その他」は具体的ご記入下さい
②お住まいの地域への期待				「15.その他」は具体的ご記入下さい

選 択 肢	
1.自然環境を大切にしたい景観の美しいまち	2.子育て環境が充実し情緒豊かな子どもを育むまち
3.福祉が充実した人に優しいまち	4.医療体制が充実した健康づくりのまち
5.多くの人を訪れる観光のまち	6.特色ある農林業のまち
7.多様な商工業が活発なまち	8.道路や上下水道などの生活環境が整備されたまち
9.災害に対する備えが充実したまち	10.防犯や交通安全等の住民の安全が充実したまち
11.教育環境が整備され学校教育が充実したまち	12.さまざまな生涯学習活動が活発なまち
13.歴史と文化財を大切にしたい文化のまち	14.住民参加によるまちづくり活動が盛んなまち
15.その他	

問7．今後のまちづくりの方向性について

本市の新市建設計画（田沢湖・角館・西木合併協議会策定）では、観光産業を活かした北東北の拠点都市を目指して以下のようなまちづくりの方針を定めています。

<p><b>【まちづくりの方針】（新市建設計画より）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標Ⅰ 観光産業を活かした北東北の「交流拠点都市」</li> <li>・目標Ⅱ さまざまな交流でつくる「生活文化都市」</li> <li>・目標Ⅲ 観光や暮らしの中で人の行き来をさかんにする交通の整備</li> <li>・目標Ⅳ まちづくりをサポートする行財政の改革</li> </ul>
---

これらを踏まえ、今後のまちづくりの方向性について、①仙北市全体への要望と、②お住まいの地域への要望について、以下の設問にお答え下さい。

問7 - 1 観光産業を活かした北東北の「交流拠点都市」に向けて、どのような取組みが必要と思いますか？

記入欄（下記の「選択肢」からそれぞれ番号を3つ）				
①仙北市全体への要望				「14.その他」は具体的ご記入下さい
②お住まいの地域への要望				「14.その他」は具体的ご記入下さい

選 択 肢	
1.観光資源の掘り起こしと冬季観光の充実	2.点在する観光資源の連携による魅力の向上
3.グリーンツーリズムや体験型観光の推進	4.北東北の広域的観光の推進
5.観光産業による雇用の場の確保	6.秋田新幹線駅の駅前機能と観光情報提供機能の強化
7.秋田空港からの二次アクセスの充実	8.特色ある農林業の振興
9.農山村や森林、水辺等の原風景の保全	10.地域に密着した商業の展開
11.地域に根ざした企業の育成と導入	12.観光産業と他の産業との連携
13.観光客への心のこもったもてなし	14.その他

問7 - 2 さまざまな交流でつくる「生活文化都市」に向けて、どのような取組みが必要と思いますか？

記入欄（下記の「選択肢」からそれぞれ番号を3つ）				
①仙北市全体への要望				「22.その他」は具体的ご記入下さい
②お住まいの地域への要望				「22.その他」は具体的ご記入下さい

選 択 肢		
1.伝統文化、行事等の保存と伝承	2.芸術と文化のまちづくり	3.まちづくり活動の支援
4.地域住民の交流の推進	5.姉妹都市などの地域間交流の促進	6.スポーツの励行と支援
7.自然体感施設の充実	8.幼児教育の充実	9.地域に根ざした特色ある学校づくり
10.学校教育環境の整備	11.医療体制の充実	12.障害者福祉の充実
13.子育て支援・児童福祉の充実	14.高齢者福祉の充実	15.快適な生活環境の整備
16.自然環境の保全と公害の防止	17.防災体制の整備	18.公営住宅の整備
19.Aターン希望者受入態勢の整備	20.情報通信環境の改善	21.防犯体制の確立
22.その他		

問7 - 3 観光や暮らしの中で人の行き来をさかんにする交通の整備に向けて、どのような取組みが必要と思いますか？

記入欄（下記の「選択肢」からそれぞれ番号を3つ）				
①仙北市全体への要望				「10.その他」は具体的ご記入下さい
②お住まいの地域への要望				「10.その他」は具体的ご記入下さい

選 択 肢	
1.国道・県道など幹線道路の整備促進	2.市道など生活道路の整備促進
3.近隣空港を起点とした二次アクセスの充実	4.鉄道駅を起点とした二次アクセスの充実
5.交通安全対策の充実	6.公共施設等のバリアフリー化の推進
7.除雪体制の充実	8.バス路線（民間バス・市民バス）の利便性の充実
9.鉄道路線（秋田内陸線、JR）の利便性の充実	10.その他

問7 - 4 まちづくりをサポートする行財政の改革に向けて、どのような取組みが必要と思いますか？

記入欄（下記の「選択肢」からそれぞれ番号を3つ）			
			「12.その他」は具体的ご記入下さい

選 択 肢		
1.住民参加の行政運営	2.新しいまちづくりの計画的な推進	3.事務事業の再編・整理、廃止・統合
4.情報化の推進	5.行政情報開示の推進	6.コストを意識した行政運営
7.民間委託等の推進	8.市職員数の適正化	9.第三セクターの見直し
10.行政評価システムの導入	11.簡素で効率的な行政組織の構築	12.その他

問8 . まちづくりへの住民参加について伺います

問8 - 1 あなたは、現在ボランティア活動や地域活動などに参加していますか？（1つに ）

1 . 積極的に参加している	2 . ときどき参加している	3 . あまり参加していない
4 . まったく参加していない	5 . わからない	

問8 - 2 まちづくりへの住民参加について （1つに ）

1 . まちづくりへの住民参加は必要であり、自分も積極的に参加したい
2 . まちづくりに住民参加は必要であるが、自治会役員など選ばれた人が中心になって進めるべき
3 . まちづくりに住民参加は必要であるが、自分は参加しない
4 . まちづくりに住民参加は必要であるが、新しい仕組みなどは要らず、現状のままでよい
5 . 現状に満足しており、住民参加は必要ない。
6 . その他（ ..... ）
7 . わからない

問9 . その他、総合計画の策定に対し、ご意見・要望がありましたらご記入下さい。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

## Ⅱ 統計資料

### 1. 基本構想に関するもの

#### ① 人口・世帯数・所得

人口・世帯数・年齢別人口・産業別人口

<単位：人、世帯>

区 分		昭和60年	平成2年	7年	12年	17年
総人口		38,348	36,297	34,945	33,565	31,868
年齢別	年少人口(0~14歳)	7,429	6,245	5,063	4,173	3,554
	生産年齢人口(15~64歳)	25,647	23,869	22,111	20,388	18,477
	老年人口(65歳以上)	5,272	6,183	7,771	9,004	9,837
世帯数		10,559	10,251	10,277	10,378	10,274
就業人口		19,657	18,874	17,982	17,208	-
産業別	第1次産業	5,449	4,179	2,837	2,410	-
	第2次産業	5,839	6,094	6,119	5,778	-
	第3次産業	8,369	8,597	9,017	9,018	-
	分類不能ほか	0	4	9	2	-

各年10月1日現在

資料：国勢調査

市民所得・総生産

区 分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
市町村民所得(百万円)	68,048	67,691	65,667	62,021	63,355
一人当たり分配所得(千円/人)	2,016	2,020	1,975	1,884	1,943
市町村内総生産(百万円)	104,521	100,653	101,430	98,451	97,986
一人当たり総生産(千円/人)	3,097	3,003	3,051	2,990	3,005

\* 所得 = 雇用者報酬 + 財産所得 + 企業所得

資料：秋田県市町村民経済計算年報

\* 一人当たり分配所得 = 市町村民所得 / 市町村の総人口

\* 総生産 = 雇用者報酬 + 営業余剰 + 混合所得 + 固定資産減耗 + 生産・輸入に課される税 - 補助金

\* 一人当たり総生産 = 市町村内総生産 / 市町村の総人口

#### ② 自然環境

市の面積

<単位：km<sup>2</sup>>

市土面積	(角館地区)	(田沢湖地区)	(西木地区)
1,093.64	156.63	672.06	264.95

資料：全国都道府県市区町村別面積調

土地利用の現況

<単位：km<sup>2</sup>・%>

区 分	総面積	農用地	森林	原野	水面・河川・水路	道路	宅地	その他
面積	1,093.64	56.05	922.66	15.79	51.33	14.96	10.93	21.92
構成比	100.0	5.1	84.4	1.4	4.7	1.4	1.0	2.0

H17.10.1現在

資料：秋田県建設管理課

山、川の状況

<単位：m>

山名	標高
秋田駒ヶ岳	1,637
八幡平(畚岳)	1,578
大深岳	1,541
烏帽子岳(乳頭山)	1,478
和賀岳	1,440

資料：国土地理院

<単位：m>

河川名	流路延長
玉川	103,117
桧木内川	33,182
先達川	7,500

資料：秋田県河川砂防課

気象状況 [平成17年]

月 \ 項目	降水量 (mm)		平均気温 (°C)		風速 (m/s)		日照時間 (時間)	
	角館	田沢湖	角館	田沢湖	角館	田沢湖	角館	田沢湖
1月	249.0	188.0	-1.3	-2.5	0.7	1.2	36.9	30.1
2月	190.0	112.0	-2.1	-3.3	1.0	1.7	39.3	34.2
3月	192.0	185.0	0.9	-0.2	1.2	1.9	83.3	81.5
4月	93.0	140.0	7.6	6.3	1.1	2.0	141.7	127.3
5月	129.0	128.0	13.4	12.0	1.0	2.6	151.9	154.0
6月	120.0	112.0	21.6	19.8	0.8	1.9	133.5	130.3
7月	324.0	325.0	21.9	20.6	0.6	1.9	85.0	84.7
8月	172.0	157.0	25.3	24.0	0.6	1.5	169.1	162.2
9月	276.0	253.0	20.1	18.9	0.6	1.8	140.8	142.3
10月	199.0	168.0	13.6	12.7	0.6	1.3	146.5	132.1
11月	255.0	219.0	6.3	4.9	0.8	1.3	82.9	66.3
12月	271.0	177.0	-1.2	-2.6	0.8	1.4	44.4	50.8
月平均	205.8	180.3	10.5	9.2	0.8	1.7	104.6	99.7

資料：秋田地方気象台

## 2. 基本計画に関するもの

### ① 交流拠点

観光客数〔祭り、施設等別〕

<単位：人>

区 分	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年
桜 ま つ り	1,120,000	1,011,000	1,334,000	1,331,000	1,408,000
送 り 盆	5,500	5,000	8,000	7,000	8,000
角 館 の お 祭 り	350,000	400,000	335,000	243,000	202,000
火 振 り か ま く ら	20,000	20,000	17,500	17,000	18,000
抱 返 り 紅 葉 ま つ り	98,000	95,000	110,000	99,000	190,000
田 沢 湖 祭 り	20,000	20,000	18,000	22,000	21,000
田 沢 湖 マ ラ ソ ン	8,000	9,000	9,000	9,000	9,000
生 保 内 公 園 つ つ じ 祭 り	11,000	8,000	9,000	10,000	10,000
田 沢 湖 高 原 雪 祭 り	19,000	22,000	25,000	26,000	27,000
戸 沢 氏 祭 り	-	-	10,000	5,000	8,000
紙 風 船 上 げ	10,000	12,000	10,000	12,000	8,000
① 小 計	1,661,500	1,602,000	1,885,500	1,781,000	1,909,000
武 家 屋 敷	563,585	574,241	572,788	582,457	529,529
角 館 榊 細 工 伝 承 館	113,365	104,385	97,677	87,393	68,738
平 福 記 念 美 術 館	27,943	22,746	23,240	20,448	18,006
田 沢 湖 ハ ー ト ハ ー プ	80,693	164,938	174,465	163,641	143,803
芸 術 村 ミ ュ ー ジ カ ル	64,603	63,930	52,423	63,032	58,979
田 沢 湖 遊 覧 船	35,780	33,006	36,035	29,400	29,008
田 沢 湖 金 色 大 観 音	16,782	18,028	13,102	14,660	10,367
む ら っ こ 物 産 館	56,602	66,983	118,572	131,475	134,996
カ タ ク リ の 郷	30,000	29,000	31,130	36,549	30,142
県 立 自 然 公 園 抱 返 り	250,000	177,000	234,000	176,000	170,000
県 立 自 然 公 園 田 沢 湖	1,338,000	1,307,000	1,366,000	1,169,000	1,074,000
県 立 自 然 公 園 田 沢 湖 高 原	686,000	669,000	740,000	739,000	675,000
刺 巻 湿 原 ミ ズ バ シ ョ ウ	85,000	87,000	123,000	135,000	130,000
② 小 計	3,348,353	3,317,257	3,582,432	3,348,055	3,072,568
①+② 合 計	5,009,853	4,919,257	5,467,932	5,129,055	4,981,568

資料：観光課

観光客数 [ 地区、県内・県外別、宿泊・日帰り別 ]

< 単位：人、% >

区 分	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年
県内客数	2,169,297	2,340,602	2,266,508	2,106,989	2,065,323
田 沢 湖	944,828	1,165,795	951,058	902,421	924,194
角 館	627,839	582,141	706,537	646,080	639,471
西 木	596,630	592,666	608,913	558,488	501,658
県外客数	4,047,774	3,659,904	4,320,008	4,201,221	4,081,488
田 沢 湖	1,804,984	1,504,866	1,949,658	1,975,947	1,942,952
角 館	1,774,227	1,689,592	1,878,463	1,790,543	1,750,591
西 木	468,563	465,446	491,887	434,731	387,945
計	6,217,071	6,000,506	6,586,516	6,308,210	6,146,811
田 沢 湖	2,749,812	2,670,661	2,900,716	2,878,368	2,867,146
角 館	2,402,066	2,271,733	2,585,000	2,436,623	2,390,062
西 木	1,065,193	1,058,112	1,100,800	993,219	889,603
宿泊客数	807,528	865,733	871,830	859,501	822,270
田 沢 湖	736,360	800,021	799,496	789,405	760,723
角 館	57,260	52,164	55,467	52,742	45,877
西 木	13,908	13,548	16,867	17,354	15,670
宿泊率	13.0	14.4	13.2	13.6	13.4
田 沢 湖	26.8	30.0	27.6	27.4	26.5
角 館	2.4	2.3	2.1	2.2	1.9
西 木	1.3	1.3	1.5	1.7	1.8
日帰り客数	5,409,543	5,134,773	5,714,686	5,448,709	5,324,541
田 沢 湖	2,013,452	1,870,640	2,101,220	2,088,963	2,106,423
角 館	2,344,806	2,219,569	2,529,533	2,383,881	2,344,185
西 木	1,051,285	1,044,564	1,083,933	975,865	873,933

資料：観光課

主要道路の状況

区 分	路線数	延長 ( m )	面積 ( m <sup>2</sup> )	改良率 ( % )	舗装率 ( % )	摘 要
国 道	3	134,670	2,581,226	94.2	95.7	H17.4.1現在
県 道	17	114,821	1,696,308	75.5	46.6	H17.4.1現在
市 道	1,679	849,377	4,462,139	61.4	59.0	H18.4.1現在

資料：建設課

秋田内陸線乗車人員

< 単位：人 >

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
乗 車 人 員	723,071	645,541	563,409	505,077	512,507

資料：企画政策課

市民バス乗車人員

< 単位：人 >

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
たっこちゃんバス	14,343	14,173	12,981	11,554	12,550
( 田沢湖 )					
大 人	3,714	4,144	4,209	4,939	4,989
小 人	10,629	10,029	8,772	6,615	7,561
スマイルバス	48,445	48,159	45,410	46,149	36,768
( 角館 )					
大 人	30,811	32,135	27,892	28,614	21,847
小 人	17,634	16,024	17,518	17,535	14,921

資料：企画政策課

姉妹都市等連携交流自治体

区 分	都 市 名	内 容	締結年月日
姉妹都市			
	ノルウェー オップダル市	山岳観光資源による縁	昭和50年3月13日
	長崎県 大村市	戊辰戦争の縁	昭和54年7月18日
友好都市			
	香川県 さぬき市	解体新書の縁	平成8年9月28日
有縁友好交流都市			
	茨城県 常陸太田市	佐竹北家の縁	平成10年11月21日
災害時防災協定都市			
	山形県 新庄市	角館城主戸沢氏の縁	平成8年7月27日
	茨城県 高萩市	角館城主戸沢氏の縁	平成8年7月27日
	秋田県内全市	災害時における相互援助に関する協定	平成18年4月26日

資料：企画政策課

在住外国人登録者数 <単位：人>

区 分	登録者数
仙北市内全人口	32,170
うち外国人登録者数	143
中 国	98
フィリピン	16
そ の 他	29

H18.9.30現在

資料：市民課

② 健康福祉

各種健診等の実施状況

<単位：人、%>

区 分		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
基本健診	対象者数	10,849	10,915	10,085	10,490	8,663
	受診者数	8,194	8,095	7,454	7,384	6,081
	受診率	75.5	74.2	73.9	70.4	70.2
胃がん検診	対象者数	11,291	10,720	7,469	7,807	5,828
	受診者数	3,502	3,451	2,923	2,656	1,935
	受診率	31.0	32.2	39.1	34.0	33.2
子宮がん検診	対象者数	8,298	7,974	5,362	4,668	3,005
	受診者数	2,316	2,252	1,676	1,437	592
	受診率	27.9	28.2	31.3	30.8	19.7
乳がん検診	対象者数	8,389	8,048	5,361	4,236	2,509
	受診者数	2,387	2,337	1,834	1,442	645
	受診率	28.5	29.0	34.2	34.0	25.7
大腸がん検診	対象者数	12,574	12,487	9,301	9,233	7,465
	受診者数	5,677	5,475	5,291	5,249	4,061
	受診率	45.1	43.8	56.9	56.9	54.4

資料：13～16年度 大仙保健所業務概要、17年度 保健課

自殺死亡率

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
自殺死亡率(人口10万人当たり)	39.1	51.6	64.4	65.0	49.0

資料：保健課

乳幼児健診等の実施状況

<単位：人、％>

区 分		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
乳 児 健 診 受 診 率	対象者数	212	222	218	218	206
	受診者数	195	212	211	209	199
	受診率	92.0	95.5	96.8	95.9	96.6
1歳6ヶ月児 健診受診率	対象者数	240	224	226	213	221
	受診者数	223	219	215	195	203
	受診率	92.9	97.8	95.1	91.5	91.9
3歳6ヶ月児 健診受診率	対象者数	257	245	244	221	230
	受診者数	242	221	234	203	210
	受診率	94.2	90.2	95.9	91.9	91.3
1歳6ヶ月児 虫歯罹患率	受診者数	223	219	215	195	203
	う蝕のある者	26	15	18	22	28
	罹患率	11.7	6.8	8.4	11.3	13.8
3歳6ヶ月児 虫歯罹患率	受診者数	242	221	234	203	210
	う蝕のある者	142	128	148	111	120
	罹患率	58.7	57.9	63.2	54.7	57.1

資料：保健課

医療施設等の状況 <単位：箇所、床、人>

区 分		箇所数等
病 院		2
	市 立	2
	民 間	-
病院病床数		416
	市 立	416
	民 間	-
診療所数		23
	市 立	7
	民 間	16
診療所病床数		44
	市 立	0
	民 間	44
医師数		43
	市 立	24
	民 間	19

H18.3.31現在

資料：保健課

年次別救急出動件数 [仙北市内]

<単位：件、人>

区 分	救 急 事 故 種 別 出 動 件 数												搬 送 人 数
	合 計	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	
13年	921	1			102	9	2	96	2	7	562	140	922
14年	896	2			105	4	2	102	4	14	549	114	901
15年	1,025	1			101	8	5	125	4	10	615	156	1,011
16年	1,055	1		1	111	9	3	138	4	20	620	148	1,033
17年	1,268	3			105	17	3	164	2	18	767	189	1,230

資料：角館消防署

保育園数、保育児童数の現状 <単位：箇所、人>

区 分	箇所数/人数	定 員
市立保育園数	9	-
うちへき地保育所	1	-
保育児童数	7 2 2	7 3 0

H18.4.1現在

資料：長寿子育て課

出生数 <単位：人>

区 分	人 数
13年10月～14年9月	2 3 7
14年10月～15年9月	2 0 9
15年10月～16年9月	2 1 7
16年10月～17年9月	2 1 5
17年10月～18年9月	2 0 0

資料：秋田県年齢別人口流動調査

母子・父子家庭数 <単位：世帯>

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
母子家庭	3 2 5	3 4 3	3 3 8	3 4 1	3 5 0
父子家庭	8 6	9 6	9 9	9 7	9 3
計	4 1 1	4 3 9	4 3 7	4 3 8	4 4 3

各年度8月1日現在

資料：長寿子育て課

要介護認定者数 <単位：人>

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
要 支 援	第1号	1 5 1	2 2 9	2 4 6	2 3 3	1 7 2
	第2号	2	4	8	5	8
介護度1	第1号	3 1 2	4 0 8	5 0 2	5 1 3	6 2 3
	第2号	1 7	1 8	2 3	1 6	1 4
介護度2	第1号	2 2 5	2 5 0	2 1 2	2 4 4	2 5 3
	第2号	1 1	2 0	8	1 7	1 2
介護度3	第1号	1 5 6	1 6 7	1 9 1	1 9 8	2 3 3
	第2号	9	4	8	4	9
介護度4	第1号	1 8 3	1 8 8	2 1 2	2 4 1	2 4 1
	第2号	8	1 3	1 5	1 3	1 0
介護度5	第1号	2 4 3	2 8 3	2 6 1	2 6 1	2 4 8
	第2号	1 4	1 4	1 4	1 3	1 1
合 計	第1号	1, 2 7 0	1, 5 2 5	1, 6 2 4	1, 6 9 0	1, 7 7 0
	第2号	6 1	7 3	7 6	6 8	6 4
	計	1, 3 3 1	1, 5 9 8	1, 7 0 0	1, 7 5 8	1, 8 3 4

各年度3月31日現在

資料：大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事務所

仙北市分 \* 1号：一号被保険者（65歳以上）

\* 2号：二号被保険者（40～64歳）

要介護認定率 <単位：%>

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
要介護認定率	5.1 8	6.0 0	6.8 0	7.2 3	7.4 0

各年度10月1日現在、40歳以上

資料：大曲仙北広域市町村圏組合第3期介護保険事業計画

介護保険給付費

<単位：千円>

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度
要 介 護	1,909,856	2,020,929	2,146,140	2,283,374
居宅サービス	612,042	653,721	768,827	907,624
居宅介護支援	67,806	78,424	84,885	92,580
施設サービス	1,220,545	1,281,483	1,283,402	1,233,996
償還払い	9,463	7,301	9,026	8,579
特定入所者介護サービス費	0	0	0	40,595
要 支 援	41,428	40,558	45,055	54,222
居宅サービス	30,561	27,419	31,146	25,473
居宅介護支援	9,566	11,794	12,827	11,194
償還払い	1,301	1,345	1,082	893
特定入所者支援サービス費	0	0	0	16,662
高額介護（公費含む）	13,113	13,949	14,391	20,228
審査支払手数料	3,513	3,713	3,255	3,550

仙北市分

資料：大曲仙北広域市町村圏組合介護保険事務所

障害者福祉サービスの状況

<単位：人>

項 目	15 年	16 年	17 年	18 年
訪問系サービス利用者数	1 1	1 9	3 0	3 5
日中活動系サービス利用者数	0	3	3	8
居住系サービス利用者数	6 5	6 8	6 7	6 7

各年4月1日現在

資料：社会福祉課

身体障害者手帳保持者数

<単位：人>

区 分	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
視覚障害	1 2 2	1 1 9	1 1 9	1 1 2	1 0 2
1 級	5 3	4 9	4 8	4 3	3 8
2 級	2 7	2 6	3 1	3 0	2 8
3 級	1 4	1 5	1 3	1 3	1 2
4 級	5	5	5	5	6
5 級	7	7	7	7	4
6 級	1 6	1 7	1 5	1 4	1 4
聴覚・平衡機能障害	1 0 8	1 0 5	1 0 8	1 1 4	1 0 4
1 級	1	1	1	1	1
2 級	3 1	2 9	2 8	3 0	2 8
3 級	2 2	2 1	2 1	1 8	2 0
4 級	1 4	1 4	1 7	1 9	1 8
5 級	0	0	0	0	0
6 級	4 0	4 0	4 1	4 6	3 7
音声・言語障害	2 4	2 4	2 4	2 5	2 4
1 級	0	0	0	0	0
2 級	1	1	1	1	1
3 級	1 3	1 3	1 3	1 3	1 2
4 級	1 0	1 0	1 0	1 1	1 1
5 級	0	0	0	0	0
6 級	0	0	0	0	0
内部障害	3 2 9	3 4 4	3 4 4	3 5 5	3 4 8
1 級	2 3 3	2 4 7	2 4 2	2 4 8	2 3 9
2 級	2	2	2	4	2
3 級	4 7	4 2	5 1	5 2	5 1
4 級	4 7	4 9	4 9	5 1	5 6
5 級	0	4	0	0	0
6 級	0	0	0	0	0
肢体不自由者	1,0 6 2	1,0 7 8	1,1 4 3	1,1 6 0	1,1 3 9
1 級	2 2 6	2 2 9	2 5 6	2 5 7	2 4 2
2 級	2 5 1	2 5 0	2 5 1	2 5 1	2 4 0
3 級	1 8 8	1 9 6	2 0 9	2 1 4	2 2 6
4 級	2 3 9	2 5 1	2 6 6	2 7 9	2 7 7
5 級	1 1 0	1 0 6	1 1 2	1 0 8	1 0 0
6 級	4 8	4 6	4 9	5 1	5 4
合 計	1,6 4 5	1,6 7 0	1,7 3 8	1,7 6 6	1,7 1 7

各年 3 月 31 日現在

資料：社会福祉課

療育手帳保持者数

<単位：人>

区 分	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
A 区分(重症心身、最重度、重度)	9 7	9 9	1 0 3	1 0 5	1 0 5
B 区分(中度、軽度)	5 4	6 2	6 8	7 5	7 9
合 計	1 5 1	1 6 1	1 7 1	1 8 0	1 8 4

各年 3 月 31 日現在

資料：社会福祉課

精神障害者保健福祉手帳保持者数

<単位：人>

区 分	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
1 級	14	16	17	18	20
2 級	23	34	45	57	58
3 級	10	15	19	19	19
合 計	47	65	81	94	97

各年3月31日現在

資料：社会福祉課

国民健康保険、国民年金の状況

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度
被保険者数(人)	15,233	15,406	15,468	15,386
加入世帯数(世帯)	6,669	6,809	6,875	6,894
被保険者一人当たり医療費(円)	157,711	170,327	166,829	169,648
国民健康保険税徴収率(現年一般)(%)	93.7	93.5	93.3	91.2
老人一人当たり医療費(円)	671,984	685,951	707,733	728,752
国民年金収納率(%)	72.2	73.6	73.1	75.8

資料：市民課、税務課

生活保護の状況

<単位：世帯、人>

区 分	14年	15年	16年	17年	18年
保護世帯数	256	261	269	284	300
保護人員数	350	355	368	394	409

各年3月31日現在

資料：社会福祉課

③ 産業創造

農業の状況

区 分	昭和60年	平成2年	7 年	12 年	17 年	
農業従事者数(人)	5,186	4,502	3,905	3,513	3,268	
農家戸数(戸)	3,821	3,480	3,192	2,857	2,173	
農地面積(ha)	5,399	5,202	5,178	5,057	4,747	
乳用牛	農家数(戸)	27	21	16	9	-
	頭数(頭)	291	185	198	94	99
肉用牛	農家数(戸)	502	388	251	150	-
	頭数(頭)	1,938	1,721	1,279	781	731
豚	農家数(戸)	52	20	9	9	-
	頭数(頭)	3,475	2,100	966	1,785	783
採鶏卵	農家数(戸)	292	96	68	3	-
	羽数(羽)	96,108	23,800	3,500	X	2,745

\* 「X」...統計法により秘密保持上統計数値を公表しないもの

資料：農林業センサス

区 分	13年	14年	15年	16年	17年	18年	摘 要
農業産出額(千万円)	683	681	681	783	676	-	秋田農林水産統計年報
農道延長(m)	74,849	76,159	76,349	77,646	79,007	78,561	各年8月1日現在
認定農業者数(人)	-	316	337	345	344	352	各年3月31日現在

資料：農政課、農村整備課

\* 農業産出額は、耕種、養蚕及び畜産等の農業生産によって得られた農産物と、これらを原料とする加工農産物に区分し、推計したものの合計

\* 農道 各年8月1日現在 市町村管理分

林業の状況

区 分	昭和60年	平成2年	7年	12年	摘 要
林業従事者数(人)	692	479	361	216	国勢調査
林家戸数(戸)	3,800	3,601	-	2,018	農林業センサス

資料：国勢調査、農林業センサス

区 分	15年	16年	17年
現状林道延長(m)	141,805	143,249	142,566
森林面積(ha)	89,265	89,263	89,205
森林蓄積量(m <sup>3</sup> )	4,786,771	4,911,700	5,031,521

資料：秋田県林業統計

小売業 商店数・従業者数・販売額

区 分	6年	9年	11年	14年	16年
商店数(店)	631	616	580	518	502
従業者数(人)	X	X	2,309	2,205	2,206
年間商品販売額(万円)	X	X	3,764,812	3,161,750	3,276,457

資料：商業統計調査

\* [ X ] ……統計法により秘密保持上統計数値を公表しないもの

工業の状況

区 分	事業所数					従業者数(人)					製造品出荷額等(万円)				
	12年	13年	14年	15年	16年	12年	13年	14年	15年	16年	12年	13年	14年	15年	16年
総 数	106	92	85	85	79	2,485	2,025	1,552	1,991	2,038	1,996,564	1,845,023	1,623,797	1,761,529	1,871,046
食 料 品	20	17	15	18	14	220	181	209	218	231	142,625	118,123	125,154	132,185	126,044
衣 服	21	19	19	18	15	548	490	491	490	471	223,523	197,487	199,509	185,944	212,747
木材・木製品	21	20	17	17	17	230	220	190	195	211	314,015	236,145	241,944	248,995	255,708
家具・装備品	1	2	2	1	1	X	X	X	X	6	X	X	X	X	X
印 刷	3	3	2	1	2	19	16	X	X	12	12,790	12,277	X	X	X
石油製品	1	-	-	-	-	X	-	-	-	-	X	-	-	-	-
プラスチック	1	1	1	1	1	X	X	X	X	13	X	X	X	X	X
ゴム製品	1	1	1	1	1	X	X	X	X	28	X	X	X	X	X
窯業・土石	9	7	6	7	7	130	78	64	63	116	267,016	169,806	145,435	133,455	149,432
金属製品	7	7	11	6	7	54	68	77	X	140	X	X	X	X	X
一般機械	3	3	3	3	2	X	X	X	X	39	32,634	34,709	23,960	25,439	28,052
電気機械	12	8	3	2	2	598	393	X	X	49	430,166	423,741	X	X	X
情報通信機械	-	-	2	1	2	-	-	X	X	103	X	X	X	X	X
電子部品・デバイス	-	-	-	5	5	-	-	-	X	249	X	X	166,924	149,696	168,413
精密機械	5	3	3	4	3	103	X	X	X	370	92,017	X	X	X	X
そ の 他	1	1	-	-	-	X	X	X	X	-	X	X	X	X	X

各年12月31日現在

資料：工業統計調査

\* 従業者数4人以上の事業所

\* [ X ] ……統計法により秘密保持上統計数値を公表しないもの

有効求人倍率

< 単位：% >

区 分	13年	14年	15年	16年	17年
有効求人倍率(常用一般+パート)	0.31	0.32	0.41	0.44	0.47

\* 大曲職業安定所角館出張所管内

資料：大曲職業安定所角館出張所

シルバー人材センター利用件数

<単位：件>

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
利用件数	2,614	2,595	2,736	3,014	2,540

資料：仙北市シルバー人材センター

\* 16年度以前の数値：北仙北シルバー人材センター（旧中仙町含む）

④ 生活環境

水道の状況

[公営企業法適用事業]

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
水道給水人口(人)	18,205	18,043	17,880	17,943	17,679	
普及率(%)	65.7	65.8	65.6	66.4	66.6	
加入率(%)	田沢湖地区	85.0	85.0	85.0	85.0	88.0
	角館地区	80.0	80.0	80.0	80.0	78.0

[公営企業法非適用事業]

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
水道給水人口(人)	3,971	4,058	4,334	4,101	4,026	
普及率(%)	65.3	67.4	73.0	69.8	69.7	
加入率(%)	西木地区	68.2	68.2	68.2	68.2	68.2

\* 普及率 = 給水人口 / 住民基本台帳人口

資料：企業局

\* 加入率 = 加入者人口 / 給水人口

下水道の状況

<単位：%>

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
下水道整備率	41.3	45.1	48.8	52.0	52.9
水洗化率	43.4	45.8	48.5	51.8	54.1
普及率	42.1	44.9	47.1	50.2	52.1

\* 下水道整備率 = 整備面積 / 全体面積  
(公共、特環、流域)

資料：下水道課

\* 水洗化率 = 水洗化人口 / 処理可能人口  
(公共、特環、流域、集排)

\* 普及率 = 処理可能人口 / 住民基本台帳人口

住宅管理戸数

<単位：戸>

住 宅 名	14年	15年	16年	17年	18年
玉川住宅	9	9	8	8	8
田中住宅	20	17	16	16	16
岩瀬住宅	60	60	60	60	50
菅沢住宅	90	90	90	90	90
さくらぎの里	30	30	30	30	30
武蔵野団地	33	33	33	33	33
公園南団地	12	12	12	12	12
神代団地	4	4	4	4	4
武蔵野中央団地	10	10	10	10	10
ニュータウン塚野腰	24	34	34	34	34
松葉住宅	-	-	8	8	8
合 計	292	299	305	305	295

各年12月31日現在(18年は10月31日現在)

資料：都市整備課

建築確認申請件数

<単位：件>

種別	住 宅		店 舗		工 場		そ の 他		計		
	新 築	増改築	新 築	増改築	新 築	増改築	新 築	増改築	新 築	増改築	計
15年度	83	45	5	1	1	5	74	23	163	74	237
16年度	84	43	7	5	1	0	42	28	134	76	210
17年度	91	50	9	3	2	3	57	22	159	78	237

資料：都市整備課

公園の状況

<単位：箇所、㎡>

区 分	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
公 園 数	25	26	26	26	26
市民一人当たり公園面積	20.79	22.97	23.41	23.74	24.08

資料：都市整備課

一般廃棄物の状況

<単位：t、%>

区 分	総ごみ量	再生利用量	資源化率
13年度	11,473	1,017	8.9
14年度	10,838	1,188	11.0
15年度	11,756	1,432	12.2
16年度	12,735	1,405	11.0
17年度	11,907	1,448	12.2

資料：環境保全センター

し尿処理の状況

<単位：t>

区 分	年間処理量	1日当たり処理量
13年度	19,046	52.2
14年度	19,274	52.8
15年度	19,252	52.7
16年度	18,571	50.9
17年度	17,945	49.2

資料：環境保全センター

ごみ資源化の状況

<単位：t>

区 分	ベ ッ ト ボ ト ル	カ  ン	古  紙	ト レ イ 等	ビ  ン	他  資 源	合  計
13年度	58.765	215.350	366.095	0.000	27.010	1.825	669.045
14年度	68.225	239.440	454.060	1.095	23.725	2.920	789.465
15年度	82.855	227.760	539.835	1.095	28.105	2.920	882.570
16年度	91.990	223.020	538.010	1.830	27.740	1.830	884.420
17年度	100.960	223.435	564.310	4.310	25.030	3.500	921.545

資料：環境保全センター

都市計画区域の現況

<単位：ha、%>

区 分	面 積 (ha)		容積率 (%)		建ぺい率 (%)	
	角 館	田沢湖	角 館	田沢湖	角 館	田沢湖
第1種低層住居専用地域	33.0	39.0	80	80	50	50
第2種低層住居専用地域	31.0	-	80	-	50	-
第1種中高層住居専用地域	27.0	26.0	200	100	60	60
第2種中高層住居専用地域	17.0	16.0	200	200	60	60
第1種住居地域	125.0	90.9	200	200	60	60
第2種住居地域	20.0	-	200	-	60	-
準住居地域	-	-	-	-	-	-
近隣商業地域	10.0	19.0	200	200	80	80
商業地域	28.0	8.0	400	400	80	80
準工業地域	52.0	40.1	200	200	60	60
工業地域	-	-	-	-	-	-
工業専用地域	-	-	-	-	-	-

資料：都市整備課

消防団員数

<単位：人>

区 分	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
消防団員数	677	656	652	657	646

各年4月1日現在

資料：環境防災課

年次別火災発生件数

<単位：件>

区 分	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年
火災発生件数	19	20	24	19	12
建物	11	10	15	10	10
林野	3	3	2	-	-
車両	3	4	3	4	1
その他	2	3	4	5	1

資料：角館消防署

消防設備の状況

区 分	設置数
常備消防	
高規格救急車(台)	1
消防ポンプ自動車	4
水槽付ポンプ救急自動車	1
救助工作車	1
連絡車	2
非常備消防	
小型動力ポンプ	60
小型動力ポンプ積載車	30
防火水槽	
40立方メートル以上	268
20～40立方メートル未満	43
消火栓(私設消火栓含む)	543

H18.4.1現在

資料：角館消防署、環境防災課

危険物施設数

区 分	設置数
貯 蔵 所	194
屋内貯蔵所	10
屋外貯蔵所	6
屋内タンク貯蔵所	4
屋外タンク貯蔵所	19
地下タンク貯蔵所	102
簡易タンク貯蔵所	-
移動タンク貯蔵所	53
取 扱 所	86
給油取扱所	42
販売取扱所	-
一般取扱所	44
合 計	280

H18.4.1現在

資料：角館消防署

交通事故発生件数

区分	発生件数 (件)	道路別発生件数(件)					死亡 (人)	負傷 (人)
		国道46号	国道105号	国道341号	県道	市道その他		
13年	229	49	60	11	40	69	-	325
14年	193	42	43	8	36	64	8	277
15年	196	46	49	8	30	63	4	265
16年	204	56	54	6	32	56	2	280
17年	126	45	26	2	17	36	1	177

\* 13~16年 角館警察署管内 17年 仙北警察署管内

資料：仙北警察署

防犯灯設置数

<単位：基>

区分	14年	15年	16年	17年
防犯灯設置数	1,742	1,770	2,143	2,166

資料：環境防災課

⑤ 教育文化

幼稚園の状況

区分		箇所、人数
幼稚園数	市立	3
	私立	1
園児数	市立	92
	私立	44

H18.5.1現在

資料：学校基本調査

小学校・中学校の状況

区分		学校数等
小学校	学校数(校)	10
	学級数(学級)	77
	児童数(人)	1,483
中学校	学校数(校)	5
	学級数(学級)	32
	生徒数(人)	770

H18.5.1現在

資料：学校基本調査

学習資料館の状況

<単位：冊>

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
館内蔵書数	67,696	85,270	100,397	103,265	106,112
館内貸出冊数	53,398	62,188	66,454	66,649	57,239

資料：学習資料館

社会教育・社会体育施設の状況

<単位：箇所>

種別	体育館	野球場	運動広場	テニスコート	ゲートボールコート	武道館	相撲場	馬術競技場	その他
設置数	6	5	1	2	1	3	1	1	1

資料：生涯学習課

指定文化財の状況

種 別	件 数、内 訳
国 指 定	9 件
	「角館祭りのやま行事」(9月7日～9日) = 重要無形民俗文化財
	「桜木内川堤(サクラ)」1,950m = 名勝
	「角館のシダレザクラ」152本 = 天然記念物
	「角館重要伝統的建造物群保存地区」6.9ha = 重要伝統的建造物群
	「旧角館製糸工場」240㎡ = 有形文化財
	「秋田駒ヶ岳高山植物帯」 = 天然記念物
	「玉川温泉の北投石」 = 特別天然記念物
	「田沢湖のまるきぶね」一隻 = 重要民俗文化財
「草薨家住宅」 = 重要文化財(民家)	
県 指 定	2 3 件
市 指 定	1 5 1 件
合 計	1 8 4 件

資料：文化財課

⑥ 市民協働

NPO団体認証数

区 分	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年
団 体 数	1	2	5	5	8

各年3月31日現在 18年は7月31日現在

資料：企画政策課

秋田県で認証されたNPO法人及び内閣総理大臣が所管庁となっているNPO法人  
(秋田県内に主たる事務所等がある法人)の総数

⑦ 行 財 政

市職員数

<単位：人>

年齢段階区分	18～23歳	24～27歳	28～31歳	32～35歳	36～39歳	40～43歳	44～47歳	48～51歳	52～55歳	56～59歳	60歳以上	合計
13年度	43	79	70	43	76	162	204	166	99	86	1	1,029
14年度	43	72	82	47	51	157	186	180	130	61	1	1,010
15年度	35	76	79	59	47	131	183	181	148	59	1	999
16年度	28	72	83	64	40	110	174	182	161	66	1	981
17年度	26	71	80	77	42	74	165	193	148	74	1	951
18年度	26	65	77	86	47	49	154	177	161	91	1	934

各年4月1日現在

資料：総務課

部門別職員数

<単位：人>

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
一 般 行 政 部 門	議 会	8	8	8	8	5
	総 務	1 1 6	1 1 2	1 2 0	1 2 5	1 2 2
	税 務	2 5	2 4	2 4	2 4	2 1
	労 働	1	1	1	1	2
	農林水産	4 8	5 0	5 0	4 6	4 3
	商 工	2 0	2 5	2 7	2 9	2 4
	土 木	3 7	3 6	3 4	3 3	3 6
	民 生	1 1 1	1 0 4	1 1 2	1 0 7	1 1 1
	衛 生	5 9	5 7	5 2	5 2	5 0
計	4 2 5	4 1 7	4 2 8	4 2 5	4 0 2	4 1 4
教 育	1 1 0	1 0 6	9 1	9 4	9 3	7 6
公 営 企 業 等 会 計 部 門	病 院	3 5 1	3 4 8	3 5 1	3 4 0	3 3 7
	水 道	1 8	1 7	1 5	1 7	1 4
	下 水 道	1 1	1 1	1 0	1 0	8
	そ の 他	1 1 4	1 1 1	1 0 4	9 5	8 5
	計	4 9 4	4 8 7	4 8 0	4 6 2	4 5 6
合 計	1,029	1,010	999	981	951	934

各年4月1日現在

資料：総務課

普通会計17年度決算

歳入状況

<単位：千円>

区 分	決 算 額	
総 額	18,919,129	
自 主 財 源	市 税	2,834,591
	分 担 金 ・ 負 担 金	200,881
	寄 附 金	3,601
	使 用 料 及 び 手 数 料	450,574
	財 産 収 入	86,009
	繰 入 金	855,925
	繰 越 金	546,124
	諸 収 入	603,284
	小 計	5,580,989
依 存 財 源	地 方 交 付 税	7,764,431
	国 庫 支 出 金	1,345,002
	県 支 出 金	1,298,786
	交通安全対策特別交付金	6,335
	地 方 譲 与 税	410,920
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	93,951
	市 債	2,040,100
	利 子 割 交 付 金	9,918
	特別地方消費税交付金	-
	配 当 割 交 付 金	2,292
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	3,015
	地 方 消 費 税 交 付 金	303,178
地 方 特 例 交 付 金	60,212	
小 計	13,338,140	

資料：財政課

税目別市税収入

<単位：千円>

区 分	決 算 額	
総 額	2,834,591	
市 民 税	個 人	570,371
	法 人	136,580
	計	706,951
固 定 資 産 税	1,678,426	
軽 自 動 車 税	60,381	
市 た ば こ 税	181,075	
特 別 土 地 保 有 税	0	
入 湯 税	161,544	
都 市 計 画 税	46,214	

資料：財政課

性質別歳出状況

<単位：千円>

区 分	決 算 額
総 額	18,457,458
人 件 費	4,170,945
うち職員給	2,879,011
物 件 費	2,498,296
維持補修費	104,843
扶 助 費	1,207,946
補 助 費 等	1,476,458
普 通 建 設 事 業 費	3,594,329
災 害 復 旧 事 業 費	41,058
公 債 費	3,006,617
積 立 金	309,789
投 資 及 び 出 資 金	21,100
貸 付 金	320,366
繰 出 金	1,705,711

資料：財政課

目的別歳出状況 <単位：千円>

区 分	決 算 額
総 額	18,457,458
議 会 費	281,774
総 務 費	2,629,212
民 生 費	3,742,009
衛 生 費	1,552,084
労 働 費	56,008
農林水産業費	1,251,299
商 工 費	1,253,958
土 木 費	2,291,608
消 防 費	618,130
教 育 費	1,691,267
災 害 復 旧 費	41,058
公 債 費	3,006,655
そ の 他	42,396

資料：財政課

財政指標等

区 分	指 標
財 政 力 指 数	0.29
経 常 収 支 比 率 (%)	95.3
実 質 公 債 費 比 率 (%)	19.4
起 債 制 限 比 率 (%)	13.9
地 方 債 現 在 高 (千円)	28,014,894
積 立 金 現 在 高 (千円)	1,714,867
積 立 基 金	1,453,495
定 額 運 用 基 金	261,372

資料：財政課

資料編の数値は、データ基準日などの違いから、基本計画の数値と異なっている場合があります。

編集発行

秋田県仙北市 総務部 企画政策課

TEL0187-43-1112 FAX0187-43-1300